

おいでよさっ子遊具 完成 (5月10日)



市では子育て世代が気軽に訪れ、子どもたちがのびのび遊べる環境づくりを進めるため遊具を設置しています。今回、新たに大芋地区「泊まれる学校おくも村」に設置し、完成セレモニーを開催。セレモニーのあとは地域に住む子どもたちが元気に遊びまわりました。

篠山まるごと丼が学校給食に (5月8日)



市内の学校園で「篠山まるごと丼」が給食として提供されました。丹波篠山産の農都のめぐみ米、山の芋、牛肉などが使用された「篠山まるごと丼」を食べた子どもたちは「お肉がおいしかった」「山の芋が柔らかくておいしかった」と笑顔で話してくれました。

きんぎょまふいぬ 118



★詳しくは、14ページをご覧ください。

ふるさとの貴重な動植物

イワナシ (ツツジ科)



高さ：10～20cm

乾燥した山の斜面や岩上に生育する常緑小低木で、地を這うように伸びます。3月から5月にかけて、枝先に鐘状で淡紅色の花を数個咲かせます。

花が咲いた後、緑色の実を付けます。この実は食べると甘く、梨の味に似ていることから、イワナシ (岩梨) という名が付けました。

日本固有種で、主に日本海側に生育するとされていますが、市内の山地にも自生しています。

篠山自然の会 梶屋正敏さんの協力

輝楽



篠恋



丹波篠山楽空間



篠山よさこいまつり2026開催 (4月12日)

踊り子たちがよさこい演舞を披露する「篠山よさこいまつり2026」が、三の丸広場(メイン会場)、大手前南駐車場(サブ会場)、パレード会場の計3会場で開催。県内外から41団体・約700人が参加し、色鮮やかな衣装を身に付けた踊り手が躍動感あふれる踊りを披露しました。市内から「丹波篠山楽空間」「輝楽」「篠恋」の3チームが出場。華麗な舞を披露し、会場を大いににぎわせました。

丹波杜氏自醸酒咧酒会 (4月14日)



第105回丹波杜氏自醸酒咧酒会が、丹波杜氏酒造記念館で行われました。大阪国税局鑑定官などの審査員が、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「伝統的酒造り」で丹波杜氏が精魂込めて造り上げた新酒の香りや味わいを評価しました。

おいしいお米になーれ (5月7日)



西紀小学校の児童が地元農家の協力のもと、田植えを行いました。児童が田植えから収穫までの行程を体験し、農業の大変さや楽しさを学びます。秋には自分たちで収穫したお米を、げんき・げんき祭りで販売します。

春日神社能舞台で神前結婚式 (4月12日)



国指定重要文化財・篠山春日神社の能舞台で、神前結婚式が執り行われました。式を挙げたのは、坂部佑磨さんと春奈さん。市内で生れ育った佑磨さんの「古里で人生の門出を迎えたい」という思いから実現しました。厳かな雰囲気の中、二人は新たな人生の第一歩を踏み出しました。

陶の郷リニューアルオープン (4月17日)



立杭陶の郷の一部が「TAMBA GATEWAY CENTER」としてリニューアルオープンしました。丹波焼を深く感じられる展示を充実させ、2階は丹波焼カップを使用するカフェスペースに改装。気軽に立ち寄れる「里の玄関口」へと生まれ変わりました。

